

平成21年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施 設 名	新潟勤労者総合福祉センター(新潟テルサ)		
管 理 者 名	新潟勤労者福祉振興協会・新潟市開発公社・愛宕共同体	指定期間	平成21年4月1日 ～ 平成26年3月31日
担 当 課	経済・国際部商業振興・雇用対策課		
所 在 地	新潟市中央区鐘木185番地18		
根 拠 法 令	なし		
設 置 条 例	新潟勤労者総合福祉センター条例		
施 設 概 要	○敷地面積 31,319㎡ ○建築面積 7,212㎡ ○延床面積 11,729㎡ ○構造・規模 鉄筋コンクリート造、地上4階・地下1階建て ○主な施設内容 1階 多目的ホール(3,241㎡ 定員 1,510人) 健康クラブ (1,367㎡ 定員 100人) 2階 特別会議室 (158㎡ 定員 62人) 中会議室 (160㎡ 定員 62人) 小会議室1 (55㎡ 定員 20人) 小会議室2 (55㎡ 定員 20人) レストラン (349㎡ 定員 120人) 3階 大会議室 (226㎡ 定員 150人) 研修室1 (75㎡ 定員 54人) 研修室2 (82㎡ 定員 54人) 和室1 (15畳 定員 8人) 和室2 (10畳 定員 8人) 和室3 (10畳 定員 8人) 屋外駐車場 (15,318.7㎡、600台)		

施 設 設 置 目 的
勤労者をはじめとする市民の教養、文化及び福祉の向上並びに健康の増進を図るため、新潟勤労者総合福祉センターを設置する。
管 理 ・ 運 営 に 関 す る 基 本 理 念 、 方 針 等
(1)新潟勤労者総合福祉センター条例に基づき、勤労者をはじめとする市民の教養、文化及び福祉の向上並びに健康の増進に寄与すること。 【重点課題】 ・貸館事業:市民を対象とした公平かつ平等なホール、会議室の貸館業務の運営 ・健康増進事業:市民の健康増進に関する事業の実施 ・自主事業:市民の教養、文化及び福祉の向上を目的とした催事、研修等の企画、開催 (2)利用者の視点に立ち、施設が安全、安心、快適に利用できるよう努めること。 【重点課題】 ・高い安心感の提供、安全確保、快適性に重点を置いた管理運営 ・利用者からの意見、要望を反映させた管理運営 ・法令の遵守(個人情報保護等) (3)利用者数の増加と稼働率の向上を図るとともに、管理経費の縮減に努めること。 【重点課題】 ・各事業における利用者の増加、稼働率の上昇 ・利用者サービスの向上かつ管理経費の縮減

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市 民	広報の充実	・ホームページの充実とアクセス数の増加	ホームページの内容充実に努めた。 アクセス数 ・H20 1,209,138回 ・H21 1,121,488回	B	昨年度を下回ったものの利用水準は概ね維持された。
	基準利用者数の達成	・年間総利用者数 41万人以上	372,105人	C	目標を下回った。国体の雨天会場としての予約があったが、実際は利用されなかったことの影響もあった。
	基準稼働率の達成	・ホール稼働率 51%以上 ・会議室稼働率 81%以上	・ホール稼働率 53.4% ・会議室稼働率 76.5%	B	概ね稼働率の水準は維持された。
	各種サービス別満足度	・利用者アンケートで「満足」が 80%以上	ホール利用者アンケート 「満足」96.0%	A	目標を大きく上回った。
	設置目的に合致したサービス提供	1興業 ・開催数 15回以上 ・集客数 19,100人以上 2文化講座 ・開催数 30回以上 ・集客数 550人以上 3人材育成セミナー ・開催数 3回以上 ・集客数 110人以上	1興業 ・開催数 20回 ・集客数 23,096人 2文化講座 ・開催数 30回 ・集客数 635人 3人材育成セミナー ・開催数 5回 ・集客数 435人	A	全ての項目において目標に達した。特に人材育成セミナーの集客数は目標の約4倍となった。
財 務	利用者1人当たりのコスト削減額	利用者1人あたりコスト500円以下	546円	C	目標には届かなかった。
	管理運営経費の削減	管理運営費を年間200,000千円以下	203,285,626円	C	目標には届かなかった。
	市の歳入の増加	使用料収入を年間98,000千円以上	98,189,692円	B	要求水準に達した。
業 務	業務仕様書等に定める事項の遵守	業務仕様書当に定める事項の遵守	業務仕様書等に基づき業務を適切に実施	A	適切に実施された。
	人員計画の合理性・妥当性	サービス水準維持のための人員の適正配置	事業計画書に基づき適正に配置	A	適切に配置された。
	日常連絡・事業報告の適切さ	月次報告書を翌月10日までに提出	月次報告書等各種報告については適切に実施	A	適切に実施された。
	安全責任者の配置と安全確保体制の確立	防災責任者を配置し、防災訓練等の実施	防災責任者の配置 訓練は9,3月に2回実施	A	適切に実施された。
	事件・事故発生時の対応の適切さ	事故発生の防止と発生時の体制確保及び訓練の実施	危機管理体制については、事業計画書に基づき適切に実施	A	適切に実施された。
人 材	配置人員のミッションの理解度とスキルの習得度	職員研修の定期的な開催	ビジネスマナー研修、防火管理者講習への参加	B	概ねの要求水準は維持された。
	労働基準の充足	関係労働法令の遵守	関係労働法令について遵守	A	法令遵守が図られた。

総 合 評 価 (所 見)
一部目標を下回った項目があったものの、概ね要求する水準が維持され適切に施設が管理されている。 特に設置目標に合致したサービスの提供では、興業及び人材育成セミナーで大きく集客数が伸び、高く評価できる。 一方、基準利用者数では、新潟国体式典の雨天対応のための予約があり、結果的に使用されなかった影響があったが、それを除いたとしても利用者数が減少傾向にあることは否定できない。今後さらなる利用者増に向けて努力が必要である。 また、財務の視点では、経費を抑える努力がまだ必要といえる。 業務及び人材の視点については、適切な業務の実施及び適正水準の維持が図られており、今後も引き続き適正に施設管理がなされることを望む。